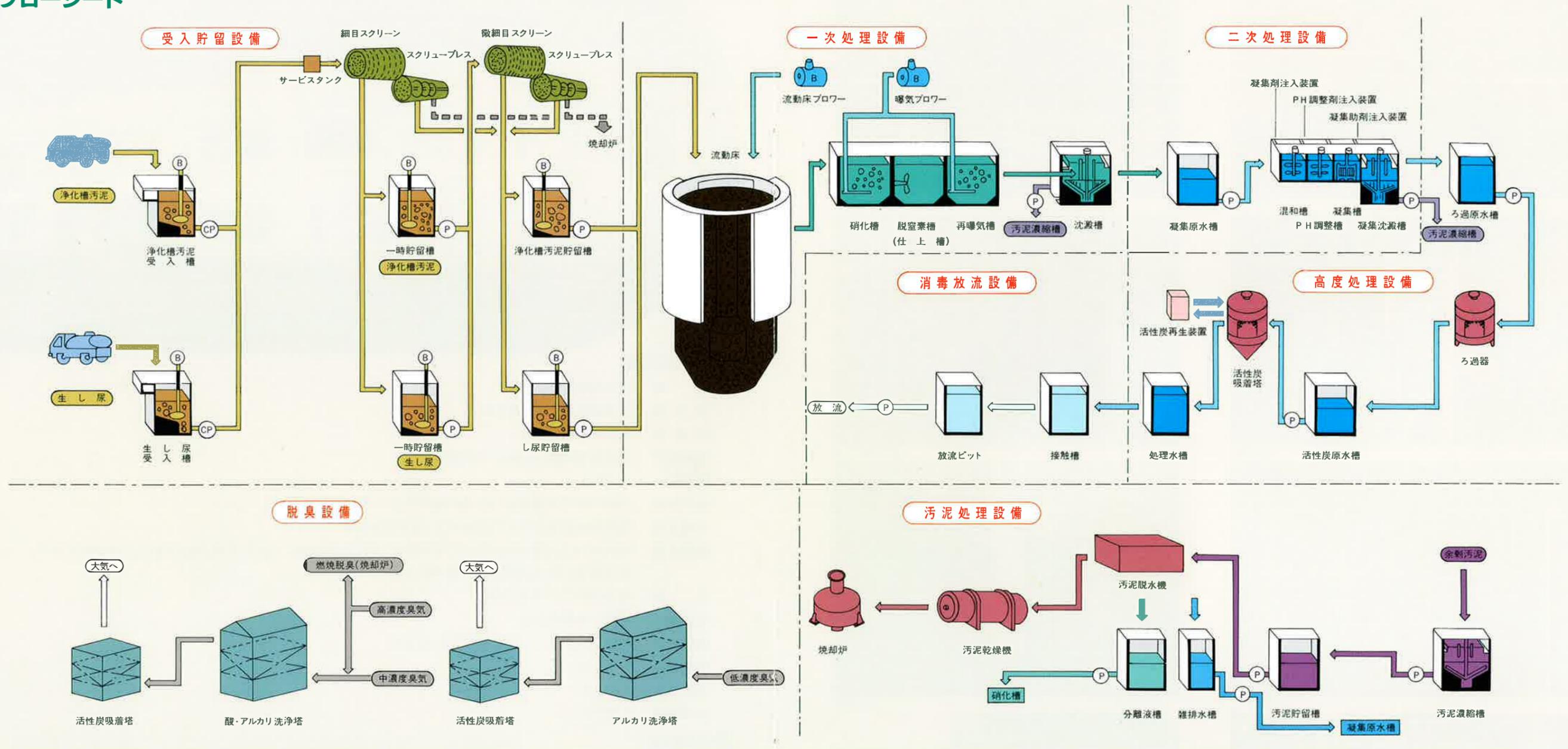


● 高度な水処理技術 (サンドラシステム) の流れ ●

● フローシート



● 処理概要

受入貯留設備

搬入されたし尿と浄化槽汚泥は砂等の比重の大きい物を除去してから受入設備に流入させ、破碎した後、夾雑物除去装置で除渣し、分離し尿は、貯留され定量的に一次処理工程へ送られます。夾雑物除去装置は細目スクリーンとスクロープレスを組み合わせたもので、繊維分を除去します。

一次処理設備(流動床設備)

貯留槽から送られたし尿及び浄化槽汚泥は流動床でエアリフト作用による上下循環流動により、BOD・COD(有機物)と窒素成分を分解します。流動床からの処理水は仕上げ槽に流下し、残存する有機物と窒素成分が除去されます。

二次処理設備(凝集沈殿設備)

流入水に無機凝集剤を添加し、PH調整後高分子凝集剤を加えて凝集フロックを形成させます。この凝集混和水を沈殿槽で固液分離することによってBOD・COD・リン・色度・有機性窒素等を効率良く除去します。

高度処理設備

砂ろ過・活性炭吸着により、二次処理において除去できなかったCOD・SS・色度等が高度に除去されます。

汚泥処理設備

一次・二次処理設備の余剰汚泥を濃縮し、汚泥貯留槽で性状を均一化した後、凝集剤を加えてベルトプレス型脱水機で脱水処理します。脱水汚泥の含水率は82%以下とし、乾燥焼却装置へ搬送します。

乾燥焼却設備

脱水汚泥は乾燥後、受入貯留設備から搬出されたし尿と混合し焼却処理します。焼却灰は炉から自動取り出しを行い、専用ホッパーに貯留し、場外処分します。

脱臭設備

受入貯留設備から発生する高濃度臭気は焼却炉の二次燃焼空気として燃焼脱臭を行います。各水槽、仕上げ槽等より発生する中濃度臭気は薬液洗浄と活性炭吸着で無臭化します。尚、焼却炉運転休止時には高濃度臭気をダンパー切替で薬液洗浄脱臭装置へ導入し、中濃度臭気と共に脱臭処理を行います。受入室等の低濃度臭気は専用の薬液洗浄と活性炭吸着設備にて無臭化を行います。